

TOSHIBA

東芝蛍光灯シャンデリア取扱説明書

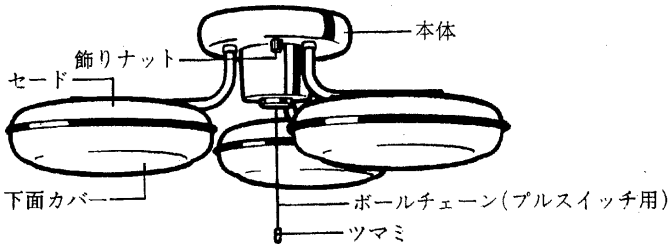
このたびは東芝蛍光灯器具をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。

お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

この取扱説明書は同種類の蛍光灯器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合があります。

各部のなまえ

シャンデリア



器具を取り付ける前に

■器具を取り付ける天井面に図のような引掛シーリングが取り付けられているか確認してください。この器具は図のどの引掛シーリングにも取り付けられます。(図-1)

■引掛シーリングが取り付けしていない場合は、付属の角形引掛シーリングボディの取り付けを電気工事店に依頼してください。

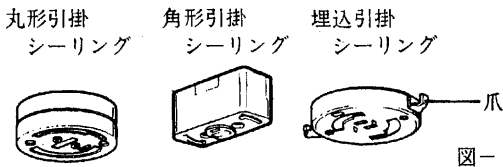


図-1

器具の取り付けかた

1. 取付金具を天井面に取り付けます。

●埋込引掛シーリングの場合

取付金具は不用です。埋込引掛シーリングの爪を使用して器具を取り付けることができます。

●丸形・角形引掛シーリングの場合

天井の引掛シーリングを中心に付属の木ねじ2本で天井面に取り付けます。(図-2)

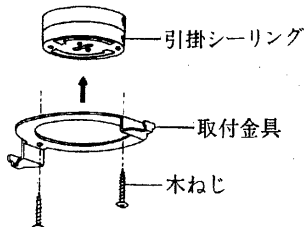


図-2

点灯・消灯のしかた

1. ランプ・点灯管・ベビー電球がソケットに確実に取り付けられているか確認してください。

ゆるんでいますと点灯いたしません。

2. プルスイッチ引きひも(ツマミ)を引きますと次の順序で切り換えられます。



2. 簡易取付金具の切り欠き部を取付金具の爪(埋込引掛シーリングの爪)に合わせて天井面まで押し上げ矢印の方向に回転し角穴と爪の位置が合った所で止め、固定ねじを簡易取付金具にねじ込んで天井に固定します。(図-3)
3. 本体とチェーンをもって器具を持ち上げ、チェーン先端を簡易取付金具の突起部分に取り付けます。(図-3)
4. チェーンの先端をペンチなどで曲げて、チェーンが簡易取付金具からはずれないようにします。
5. 引掛シーリングキャップを天井の引掛シーリングに取り付けます。
6. 本体を押し上げ飾りナットで簡易取付金具に固定します。

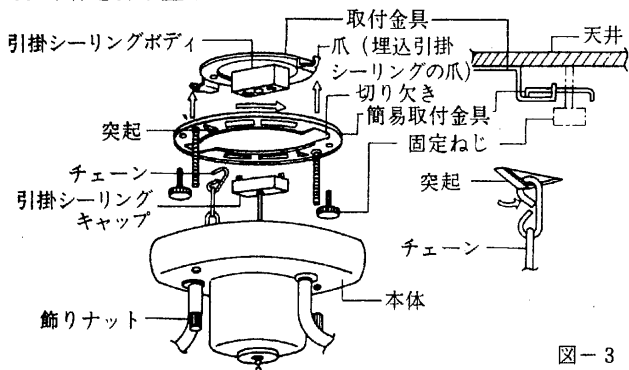
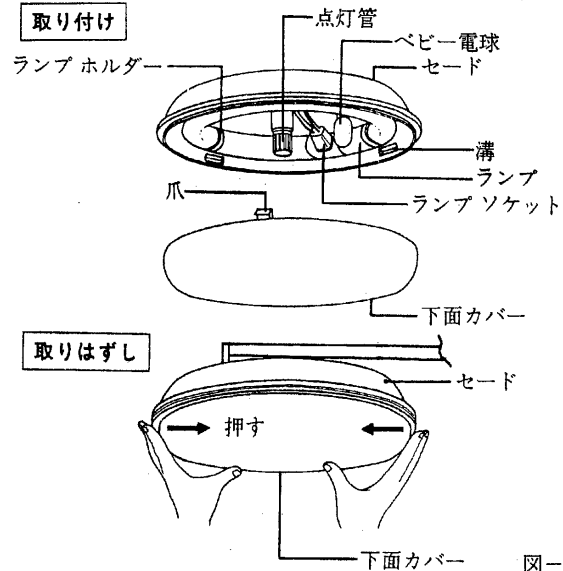


図-3

下面カバーの取り付けかた

■下面カバーの爪をセードの溝に合わせて押し込み、下面カバーをセードに取り付けます。(図-4)

■ランプ・点灯管・ベビー電球交換の際は、下面カバーの端を内側に押すようにし、下面カバーをはずして行なってください。(図-5)



お客様へ

引掛シーリングの取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。一般の方の工事は法で禁じられています。

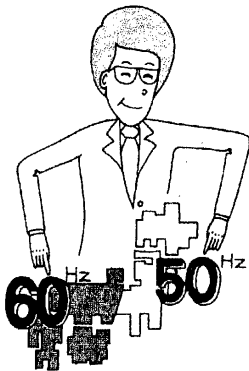
工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

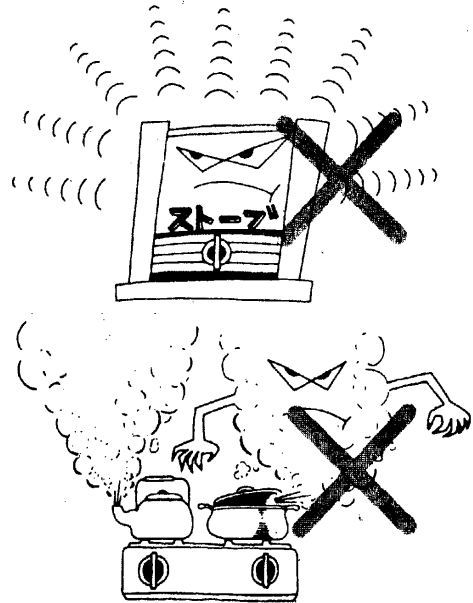
(18825) B

特にご注意を

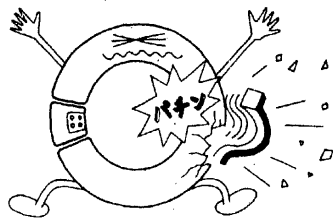
- 蛍光灯器具には電源周波数が50ヘルツ (Hz)用と60ヘルツ用の区別がありますので、地域の周波数に合った器具をお選びください (ご不明の場合はお買いあげの販売店におたずねください)。まちがえてご使用になりますと、ランプ寿命が短くなったり、過熱して焼損などのものになります。
 - ・ご贈答、ご転居のときはご注意ください。
 - ・電源周波数のちがった地域にご転居のときは、一部部品の交換が必要です。お買いあげの販売店 (工事店) またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、周波数変換については実費を請求させていただきます。



- この器具は天井の丈夫なところに取り付けてください。薄い天井板 (2 cm以下) や弱い天井に取り付けますと、ねじ止めが弱く、引きひもを強く引っぱったときや振動などで器具が落下するものになります。
- 器具に紙や布などをかぶせたりしないでください。火災や器具の変形のものになります。
- 器具の改造やランプ以外の部品の交換は絶対におやめください。性能が十分発揮できないばかりが大変危険です。
- この器具は屋内専用で5℃～35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。
- 暖房器具の近くなど温度の高い場所、湯気の直接あたる場所、湿気の多い場所でのご使用は絶対におやめください。火災や感電、故障のものになります。



- ランプ・点灯管・ベビー電球の着脱に際しては必ず電源を切ってから行なってください。
- ランプホルダーは強くはじくとランプが破損することがあり危険ですから注意してください。



- ランプ交換の際には、東芝蛍光灯ランプ〈サークライン〉メロウホワイト30W形とご指定ください。
(注) 東芝蛍光灯ランプ一般形も交換使用可能です。
- 点灯管交換の際には、東芝点灯管FG-1Eとご指定ください。

お手入れのしかた

- 器具のお手入れは必ず電源を切ってから行なってください。



- ガソリンやベンジン・シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたらないでください。変質、変色のものになります。
- 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり、腐食の原因となります。

- グローブ又はカバーが汚れたときは、やわらかい布を石けん水に浸し、よくしぼってからふきとってください。
- ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。
- 本体は電気掃除機またはハタキなどでホコリをはらうようにしてください。



修理サービス

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店 (工事店) またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。
- なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。